

「ジュニアジオガイド講座②」事業報告書

企画指導専門職 安部 信吾

1 事業の概要

- (1) 趣 旨 阿蘇ジオパークでの火山群及びその地形や地質の調査研究を通して、小学生の科学的思考の育成と阿蘇ジオパークの活用・普及に努める。また、小学生が自然に親しみ、見通しをもった観察・実験及び調査活動等の自然体験学習を行うことにより、自然を愛し、自ら学び、課題を解決する意欲をもった青少年の育成を図る。
- (2) 期 日 平成29年2月4日(土)～5日(日)【1泊2日】
- (3) 活動場所 阿蘇青少年交流の家、南阿蘇ビジターセンター、阿蘇ジオサイト、阿蘇火山博物館
- (4) 参加者 小学3～6年生 23名(男子15名、女子8名) (募集人数35名)
- (5) 担当職員 安部 信吾(企画指導専門職) 小宮 広明(事業推進室長)
橋本 抄織(事務補佐員) 山本 正明(事業支援室長)
- (6) 内 容 【1日目】開会式・古閑の滝探検・南阿蘇ビジターセンター見学・らくだ山探検
南阿蘇湧水群探検(白川水源、明神池名水公園、小池水源)・火山噴火実験
【2日目】阿蘇火山博物館見学・ジオガイド発表会・認定書(修了書)授与・閉会式

2 成果と課題

- (1) 成 果
- 阿蘇火山博物館長やジオガイドの方からプログラムについてアドバイスを頂き、またジオガイドの方と綿密な打ち合わせや下見を行ったことで、安全で充実した活動ができた。
 - ジオ学習の流れを、「指令(課題提示)」→「予想」→「調査」→「発表」→「解説」と行うことで、目的と見通しをもって調査し、課題解決学習に取り組ませることができた。
 - 南阿蘇ビジターセンターでは昼食会場としてだけでなく、ビジターセンターの職員の方に館内案内(草原学習)をしていただき、効果的に利用することができた。
 - 火山博物館では、学芸員の方に館内の解説をしていただき、詳しく説明をしてもらうことができた。またカルデラ形成実験も見せていただき、阿蘇地形のでき方を分かりやすく学ぶことができた。
 - ジオガイド発表会に参加児童の家族(約15名)が参加された。子どもたちの学習の成果を見てもらうことができてよかった。
 - 参加児童の感想に「今回ジュニアジオガイド講座に参加してもっと阿蘇のことが知りたくなりました」「ジオガイドさんの話を聞いてすごいなと思いました。ぼくもなってみたいなと思いました」「噴火実験は噴火の仕方がよく分かってよかった。楽しかった」など見られた。観察や実験を伴った活動を中心としたプログラムにすることで、参加者の興味関心を引きつけることができた。
- (2) 課 題
- 第2回からの参加者に対して、「ジオとは何か」という基本知識を提供する時間を設けられなかった。開会式後、全体または班ごとに、ジオについての事前学習の場を設ける必要があった。
 - ジオや火山についての知識に個人差があり、火山博物館での解説を難しく感じる児童もいた。
 - 参加児童の中に、発表に抵抗をもっている児童がいた。発表しやすくなるようなステップなどの手立てを作るとよかった。

3 事業の様子



古閑の滝探検



南阿蘇ビジターセンター見学



らくだ山探検



南阿蘇湧水群探検



火山噴火実験



阿蘇火山博物館見学



ジオガイド発表会



認定証（修了証）授与